

鎌倉文学館 収蔵品展

作家と歩く鎌倉 その2

由比ガ浜・材木座方面

2017年

12月16日

土

2018年

4月15日

日

写真：原田寛(江ノ電を除く)



海蔵寺



和賀江島



妙長寺



由比若宮(元八幡)



源氏山公園



江ノ電 由比ヶ浜駅近く



浄光明寺



鎌倉花火大会



亀ヶ谷坂



光明寺



由比ヶ浜

旧前田侯爵家別邸 国登録有形文化財
鎌倉文学館
Kamakura Museum of Literature

【入館料】一般300(210)円 小中学生100(50)円

※()は20人以上の団体料金

【開館時間】9:00~16:30(12月~2月)/9:00~17:00(3月~4月)

※入館は30分前まで

【休館日】月曜日(1月8日、2月12日は開館)

年末年始(12月29日~1月3日)

【主催】鎌倉文学館指定管理者

鎌倉市芸術文化振興財団

国際ビルサービス共同事業体

〒248-0016 鎌倉市長谷1-5-3 Tel 0467-23-3911

<http://www.kamakurabungaku.com>

作家と歩く鎌倉 その②

由比ガ浜・材木座方面

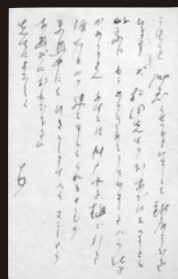
鎌倉を訪れ、暮らし、そしてこの地を愛した文学者たちは、それぞれの鎌倉を作品に書きました。彼らの文学作品をとおり「鎌倉」を逍遙するシリーズ収蔵品展の第2回は、由比ガ浜・材木座方面の魅力を高浜虚子、与謝野晶子、武者小路実篤、芥川龍之介ら28人の目をとおり紹介します。

新収蔵資料



武者小路実篤
書画「いつまでもあると思ふな親と金
ないと思ふな運と災難」

新収蔵資料



芥川龍之介から菅忠雄あてハガキ
大正7年(1918)3月12日消印
恩師の息子の昔にあて、
鎌倉への転居を知らせた。

イベント情報

鎌倉文学館でクリスマス

12月16日(土)～24日(日)

クリスマス特別展示

常設展示室をクリスマス用に飾りつけし、高浜虚子、太宰治、三島由紀夫らのクリスマスにまつわる作品を紹介。

愛は言葉だ！ 文豪のハートにふれるバレンタイン

1月27日(土)～2月18日(日)

バレンタイン特別展示

夏目漱石、太宰治、中原中也、芥川龍之介ら文豪の愛にまつわる作品を常設展示室で紹介します。
恋に効く？「文豪の愛の言葉おみくじ」イベントも開催。

文豪の愛にまつわるギャラリートーク

期間中の土日・祝日・14日 13:00～(10分程度)

「実篤チョコ」特別販売(300個限定)

武者小路実篤記念館で毎年大人気のバレンタイン限定「実篤チョコ」を販売します。チョコレートはモロゾフ製。
1缶540円(税込)
※ご購入に個数制限をもうけさせていただく場合があります。

お申し込み方法
①②③はハガキ、メールまたはFAXに、④は往復ハガキにご希望のイベント(④は希望日も)、住所、氏名、電話番号、参加希望人数(①②④は2名、③は1名)、を記入し、鎌倉文学館「各イベント」係までお送りください。お申込みは各イベントにつき1件でお願いします。

※応募者多数の場合は抽選し、当落に関わらずハガキで結果をご連絡します。 ※メール、FAXでのお申込みは締切日の17時までとさせていただきます。
※個人情報情報はイベントの詳細なご案内のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

春の文学館イベント 事前申込制

①自作を語る「黒川創」

作家の黒川創氏が『岩場の上から』をはじめ自身の作品についてお話しします。
【日時】 3月13日(火) 14:00～15:00
【講師】 黒川創氏(作家)
【会場】 鎌倉文学館1階講座室
【定員】 20名 【締切】 2月27日(火) 必着

②古典講座「『建礼門院右京大夫集』をよむ」全2回

建礼門院に仕え、平資盛に愛された作者が平家の没落後、過去を顧みた回想録。同作について鈴木良昭氏が解説します。
【日時】 3月15日(水)、22日(水) 14:00～15:30 ※両日参加できる方
【講師】 鈴木良昭氏(元神奈川県立衛生短期大学学長)
【会場】 鎌倉文学館1階講座室
【定員】 33名 【締切】 3月1日(水) 必着

③資料調査講座「夏目漱石 原稿」

館収蔵の夏目漱石の原稿を用いて、学芸員の資料調査を体験する講座です。
【日時】 2月22日(水) 14:00～15:00
【講師】 鎌倉文学館職員
【会場】 鎌倉文学館1階講座室
【定員】 10名 【締切】 2月8日(水) 必着

④文学散歩「由比ガ浜周辺」

展覧会に関連し、由比ガ浜周辺の虚子庵跡、鎌倉海浜公園を訪ね、高浜虚子、芥川龍之介、与謝野晶子らゆかりの作家について文学館職員が解説します。
【日時】 3月7日(水)、8日(木)、13日(火)、14日(水) 10:00～11:30 ※各日同一内容
【対象】 約3kmのコースを歩ける人
※応募者多数の場合は、市内在住、在勤の方が優先となります。
【講師】 鎌倉文学館職員
【定員】 各回25名
【締切】 2月23日(金) 必着 ※往復ハガキでお申し込みください。

ハガキ:〒248-0016 鎌倉市長谷1-5-3 鎌倉文学館「各イベント」係
メール: event2017@kamakura-arts.or.jp
FAX: 0467-23-5952

同時開催

常設展「鎌倉ゆかりの文学」

ミニ特集「生誕150年 芳賀矢一」
12月16日(土)～3月9日(日)

ミニ特集「中世鎌倉の天災地変」
全国文学館協議会 第6回共同展
3月10日(土)～4月15日(日)

ギャラリートーク

毎週土日・祝日

14時から15分程度
鎌倉ゆかりの文学や建物について職員がお話しします。
※イベントによって時間が前後する可能性があります。
詳しくはお問い合わせください。

講座室の貸出

一般の方々や短歌会や俳句会など、芸術文化活動の場として定員33名の講座室を貸出しています。利用希望日の2ヶ月前の初日(1日)からお電話で利用申込みができます。
休館日・日曜/祝日は除きます。詳しくはお問い合わせください。
TEL.0467-23-3911

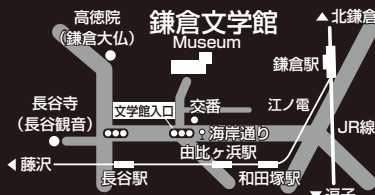
レファレンス

電話または郵便、FAX、メールにより、文学資料に関する質問にお答えしております。ぜひご利用ください。(個人のプライバシーに関わる事柄の調査、資料の鑑定、価値判断を求めるレファレンスにはお答えできません。あらかじめご了承ください。)

旧前田侯爵家別邸 国登録有形文化財

鎌倉文学館

Kamakura Museum of Literature



電車…江ノ電「由比ヶ浜駅」より徒歩7分
「長谷駅」より徒歩10分
バス…JR鎌倉駅東口発、藤沢・大仏方面バス
「海岸通り」より徒歩3分
【長谷観音】より徒歩10分 【鎌倉大仏】より徒歩13分
※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください